

JSNP 会員各位

日頃より学会活動にご理解、ご支援をいただきまして、誠に有難うございます。

新年度となりましたが、今年度も JSNP をどうぞよろしくお願い申し上げます。季ごとの理事長挨拶は今回で3回目になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

まずは、今年9月28-30日に札幌で行われる年会ですが、南雅文年会長のもと、順調に準備が進んでいます。南先生から、「これ以上のプログラムは無いと思う」との力強いお言葉をいただきましたので、ぜひ楽しみにしていただけますようお願い申し上げます。現在、一般演題の募集中で、4月28日が締切日です。会員の先生方ご自身のご発表をお考えいただくとともに、周りでご関心をお持ちになりそうな方々をぜひお誘いいただけますようお願いいたします。筆頭発表者は当学会の会員である必要がありますが、前回お知らせいたしましたように当学会へのご入会はホームページ上で手続きできます。非会員の皆様にどうぞよろしくお願いいただけますようお願い申し上げます。なお、年会への事前参加登録の方は7月31日が締切です。こちらもお忘れの無いようお願い申し上げます。

アジア神経精神薬理学会(AsCNP)のバリ大会(4月27-29日)も迫っております。2019年の日本大会(10月11-13日@福岡国際会議場)の前としては最後の大会となりますので、ぜひ多くの先生方にご参加いただきたいと願っております。優秀発表賞へご応募いただいた先生方は結果を楽しみにされていると思います。学術賞選考委員会(曾良一郎委員長)で厳正な審査がなされたと聞いております。

学会本体の学術奨励賞も評議員からの推薦を5月31日まで受け付けております。対象条件(45歳未満、3年以上の学会在籍、JSNPでの筆頭発表者としての発表経験など)を満たす先生方は、お知り合いの評議員の先生に推薦をお願いされてみてはいかがでしょうか。

その他、締切が迫っていることとしては、編集委員会(宮川剛委員長)からの「日本神経精神薬理学雑誌のリニューアルに関するアンケート」がございます。4月17日(月)が締切日ですので、まだご回答いただけていない先生方には、ぜひご回答いただけますようお願い申し上げます。中間解析では、既にかなりの投稿数と査読受諾が見込める結果となっているようです。

以上の期日のあることや関連 URL を以下に整理いたします。

4月17日: 編集委員会アンケート締切(アンケートの URL は以下です)

<http://bit.ly/2o20Dwr>

4月27-29日: AsCNP バリ大会(大会 URL は以下です)

<http://ascnp2017.com/>

4月28日: JSNP 年会一般演題登録締切(年会のホームページ URL は以下です)

<http://www.c-linkage.co.jp/bpnp2017/index.html>

5月31日: JSNP 学術奨励賞推薦締切(公募要領の URL は以下です)

<http://www.asas.or.jp/jsnp/awards/01.html>

7月31日: JSNP 年会事前参加登録締切

なお、JSNP 入会手続きのウェブページの URL は以下です。

<https://feb.db-boss.com/asas/user/regist.asp?sid=641>

JSNP の Facebook ページの URL は以下です。

<https://www.facebook.com/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E7%A5%9E%E7%B5%8C%E7%B2%BE%E7%A5%9E%E8%96%AC%E7%90%86%E5%AD%A6%E4%BC%9A-1622874974671852/?fref=ts>

次に、1月以降の上記以外の主な学会活動をご紹介します。

薬事関係では、昨年厚生労働省に要望書を提出したクロザピンの使用規制の緩和に関して、厚生労働省より連絡があり、JSNP としては阪大の橋本亮太先生と女子医大の西村勝治先生にご担当いただき、統合失調症学会と日本臨床精神神経薬理学会の担当者(それぞれ北大の久住一郎先生と島根大の堀口淳先生: いずれも JSNP 評議員でもあられます)とも調整して、厚生労働省へ情報提供しております。ま

た、ホームページで意見表明いたしました通り、NHK 番組「ガッテン！」での睡眠薬に関する誤解を招く内容につきまして、日本睡眠学会と連名で問題を指摘し、NHK に対応を取っていただきました。この件は、石郷岡前理事長を中心に迅速な対応がなされ、厚生労働省や PMDA の職員の方々からお褒めの言葉もいただきました。この他、JSNP 学会員から学会としての公知申請のご要望があり、薬事委員会で検討されています。

JSNP 関連領域の製薬会社の学会へのニーズを調査して、賛助会員制度の見直しやその他の学会運営の改善に繋げるため、菊地哲朗理事長を中心にアンケートを作成して、日本製薬工業協会（製薬協）を通して調査を実施いたしました。まだ集計中ですが、結果が出ましたら学会運営に反映させて参ります。

統合失調症ガイドラインタスクフォース（石郷岡純委員長）関連では、ガイドラインの本（統合失調症薬物治療ガイドライン：医学書院）が既に 2000 部以上の販売となって医療現場で役立てられています。一方、引用文献に懸念が生じたため、現在迅速に修正作業を進めております。

広報委員会（橋本亮太委員長）関係では、ホームページの英語版の改訂が終了しております。また、入会案内のチラシの作成や、学会への取材に対する対応方針の作成などがなされております。

PPPs タスクフォース（山脇成人委員長）でも活発に活動が行われており、AMED の CiCLE 事業への申請準備なども行われております。関連する日本学術会議脳とこころ分科会からの提言案は、現在上部委員会での査読を受けております。

児童思春期での薬物療法は、エビデンスを得るのが難しい状況なので、どのように進めるのが適切かを学会などがリーダーシップを発揮して示していくことが望まれています。そこで、「児童思春期神経精神薬理タスクフォース」を設置するための準備委員会（齋藤卓弥委員長、中村和彦委員、岡田俊委員）を発足させました。

その他の委員会、ワーキンググループ、タスクフォースも、着々と活動を続けております。5月20日に次回の理事会がございますので、詳しくは理事会報告をご覧くださいませようお願い申し上げます。

では、今年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

2017年4月
一般社団法人 日本神経精神薬理学会
理事長 池田 和隆